

注3

大学番号：063

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

島根大学 生物資源科学部
農林生産学科及び地域環境科学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 島根大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画・地域連携推進部
企画・地域連携推進課

職名・氏名 課長補佐 ヤマシタ ヒロハル
山下 弘治

電話番号 0852-32-6605

（夜間） 0852-32-6605

F A X 0852-32-6630

e-mail gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生物資源科学部

<農林生産学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況, 経費	25
4. 既設大学等の状況	26
5. 教員組織の状況	28
6. 留意事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

<地域環境科学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	33
2. 授業科目の概要	38
3. 施設・設備の整備状況, 経費	50
4. 既設大学等の状況	51
5. 教員組織の状況	53
6. 留意事項等に対する履行状況等	55
7. その他全般的事項	56

1 調査対象大学等の概要等
 <生物資源科学部 農林生産学科>

(1) 設置者

国立大学法人 島根大学

(2) 大学名
 島根大学

(3) 大学の位置

〒690-8504
 島根県松江市西川津町1060番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
 平成27年度に報告する内容 → (27)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合 (平成27年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

<生物資源科学部 農林生産学科>

調査対象学部等の 名称 (学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	
生物資源科学部 農林生産学科 学士 (生物資源科学)	4 年	85 人	※ 3年次 人	340 人 ※編入学定員は学科単位ではなく, 学部単位で設定している。(20名)

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

<生物資源科学部 農林生産学科>

区分	平成24年度			区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定員 超過率	備考
	春季入学				春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
入学定員	農業生産学科 30人 (-) [3]	生態環境科学科 45人 (-) [8]	地域開発科学科 55人 (-) [3]	A 入学定員	85人 (-) [-]		85人 (※) [-]		85人 (※) [-]		1.04倍	-	・平成24年度入試は、学生募集から入学者の決定まで一貫して旧3学科の名称で行い、3学科への入学者を、志願時に調査した希望をもとに新設2学科へ分けている。 平成24年度は、その他の学期については該当なし。 ・編入学定員は学科単位ではなく、学部単位で設定している。(20名)
志願者数	145人 (-) [3]	185人 (-) [8]	368人 (-) [8]	志願者数	309人 (-) [6]	-	251人 (24) [5]	-	414人 (21) [3]	-			
受験者数	144人 (-) [3]	138人 (-) [8]	263人 (-) [8]	受験者数	303人 (-) [6]	-	242人 (23) [5]	-	403人 (21) [3]	-			
合格者数	34人 (-) [2]	55人 (-) [0]	66人 (-) [4]	合格者数	102人 (-) [3]	-	100人 (11) [2]	-	106人 (15) [2]	-			
入学者数	31人 (-) [1]	53人 (-) [0]	63人 (-) [3]	B 入学者数	95人 (-) [1]	-	85人 (6) [0]	-	86人 (12) [1]	-			
	農林生産学科	地域環境科学科		入学定員超過率 B/A	1.11		1.00		1.01				
A 入学定員	85人	45人											
B 入学者数	91人	56人											
入学定員超過率 B/A	1.07	1.24											

(注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

<生物資源科学部 農林生産学科>

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 91	[-] (-) -	[1] (-) 95	[-] (-) -	[-] (-) 85	[-] (-) -	[1] (-) 86	[-] (-) -	
2年次	/		[1] (-) 91	[-] (-) -	[1] (-) 96	[-] (-) -	[-] (-) 86	[-] (-) -	
3年次			/		/		[1] (-) 96	[-] (-) -	[1] (-) 108
4年次	/						/		/
計			[1] (-) 91	[2] (-) 186	[2] (-) 277	[3] (-) 376			

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<生物資源科学部 農林生産学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	91 人	3 人	平成24年度	人	人	他の教育機関への入学・転学(2人) 経済的理由(1人)	3.3 %
			平成25年度	2 人	人		
			平成26年度	1 人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	95 人	0 人	平成25年度	人	人		0.0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	85 人	0 人	平成26年度	人	人		0.0 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	86 人	0 人	平成27年度	人	人		0.0 %
合 計	357 人	3 人					0.8 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生物資源科学部 農林生産学科>

(1) 授業科目表

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手				
農業 生産 学 教 育 コ ー ス	基 盤 科 目	物理学	1 前		2							兼 6			
		化学	1 前後 1 前		2			1	1			1	兼 4	履修学生多数のため、後期にも開講 (24)	
		生物学	1 前 1 前後 1 前		2								兼 2	教育指導体制強化のため、兼任教員1名 増(26) 前期に履修者が偏ったため、前期に2 クラス開講(25) 生物学に精通している教授の担当が可 能となったため、1名准教授から教授 へ変更(25)	
		地学	1 前 1 後		2						1	2	兼 2	履修学生多数のため、後期にも開講 (24)	
		生物資源と農学	1 後		2			1	2					カリキュラムの具体的な編成の過程で 変更せざるを得なかったため前期に変 更(24)	
		地域社会セミナー	1 後		2						1				
		生態学	1 後		2				1	1		2	兼 3	准教授1名の職名が、教授に変更と なったため(25)	
		統計学	1 前		2							2 1	兼 1	教育指導体制の強化のため、准教授増 (25) 教育指導体制の強化のため、准教授2 名増(27)	
		基礎フィールド演習	1 通 1 前		2								兼 4	より多様の体験をさせるため、年間を 通した演習としたことによる配当年次 の変更(26)	
		細胞生物学	1 前 1 後		2								兼 2	カリキュラムの具体的な編成の過程で 変更せざるを得なかったため前期に変 更(24)	
		遺伝学	1 後		2							1	兼 1		
		動物学	1 後		2				1				兼 3	サバティカル終了のため兼任教員1名 増(27)	
		植物学	1 後		2				1	1			兼 3	サバティカルのため兼任教員1名減 (26)	
		微生物学	1 後		2				1				兼 2		
		物理化学	1 後		2								兼 1		
		有機化学 I	1 後		2								兼 1		
		基礎分子生物学	1 後		2								兼 1		
		生物化学 I	1 後		2								兼 1		
		基礎土壌学	1 後		2								兼 2		
		農学原論	1 後		2				1						
		経済原論	1 後		2							1			
		環境生物学	1 後		2								2	採用により助教1名増(26)	
		水環境学	1 後		2									兼 2	准教授1名の職名が、教授に変更と なったため(25)
		基礎水理学	1 後		2									兼 1	退職により教授1名減及び採用により 助教1名増(24)
		物理学基礎実験	2 前		1									兼 4	退職により兼任教員1名減(26)

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
農業生産学教育コース	基盤科目	地学基礎実習	2後 3前		1								兼 2		
		農業キャリア論	3前後		2								兼 1	誤記のため訂正(24)	
		農業生産学概論	1前	1			4							教育指導体制の強化のため、准教授1名増(27)	
		森林学概論	1前	1			1							誤記のため訂正(24)	
		食と農の経済概論	1前	1			1								
											2			採用により助教1名増(26)	
								3	3					准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)	
							2				4		退職により教授1名減及び採用により助教1名増(24)		
			農林生態科学概論	1前	1			3	2		3				
	専攻科目	農業生産基礎セミナー	1前	2			6					4		退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)	
												2		退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)	
												3		退職により教授1名減及び採用により助教2名増並びに教育指導体制強化のため兼任教員1名増(26)	
			農場基礎実習Ⅰ	1前	2			2	3			4		退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)	
													2		退職により教授1名減及び採用により助教2名増並びに教育指導体制強化のため兼任教員1名増(26)
													兼 1		退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)
													兼 1		採用により助教1名増及び教育指導体制強化のため兼任教員1名増(26)
		農業生産学基礎実験Ⅰ	1前	2			5	2			2	2		教育指導体制の強化により、担当教員増(25)	
												1		教育体制の変更により、担当教員を変更(24)	
												2		退職により教授1名減及び採用により助教1名増(26)	
												3		教育指導体制の強化により、担当教員増(25)	
		農業生産学基礎実験Ⅱ	1後	2			4	5			2	4		教育体制の変更により、担当教員を変更(24)	
												3		採用により、助教1名増(26)	
												2		教育指導体制の変更により、助教1名減(25)	
		農業生産の基礎	1後	2			4	1			2	2		助教の採用により、教授から助教へ変更(24)	
												4		退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)	
		専門英語	2後	2			7	6			2	3		退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)	
												2		退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)	
												兼 1		退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)	
		農場専門実習	2前		2		2	3			1				
		農作業学	2前		2			1							

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考				
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
農 業 生 産 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	生物統計学	2後		2				1				3年次以降の具体的なカリキュラムの編成過程で、変更せざるを得なかったため(25)			
		作物学	2前		2			1								
		耕地栽培学	2前		2							1			採用により助教1名増(26)	
		植物育種学	2前		2			1	1							
		果樹園芸学	2前		2				1	1						
		野菜園芸学	2前		2			2							教育体制の強化のため教員を追加(25)	
		資源作物学	2後		2			4								
		作物栄養学	2後		2				1							
		アグリバイオテクノロジー	2後		2					3				兼 1		
		施設園芸学	2後		2			1				1			退職により教授1名減及び採用により助教1名増(26)	
		花卉園芸学	2後		2			1				1			退職により教授1名減及び採用により助教1名増(26)	
		園芸利用学	2後		2			2								
		家畜栄養学	2前		2				1						3年次以降の具体的なカリキュラムの編成過程で、変更せざるを得なかったため(25)	
		家畜繁殖学	2後		2									兼 1		
		熱帯農学	2・3前		2										兼任教員の都合により後期に変更(25)	
			2・3後		2									兼 1		
				作物研究特別講義	2前		2									兼任教員の都合により後期に変更(25)
				園芸研究特別講義	2後		2								兼 1	
				農業生産学専門実験Ⅰ	2・3前		2			2				1		兼任教員の都合により前期に変更(24)
				園芸研究特別講義	2・3後		2								兼 1	
		農業生産学専門実験Ⅱ	2・3前		2			2					兼任教員の都合により前期に変更(24)			
		農業生産学専門実験Ⅱ	2・3後		2			4	2		1					
		農業生産学専門実験Ⅱ	3前		2			3	1				教育体制の強化のため教員を追加(24)			
		農業生産分野専攻実験Ⅰ	3後		2			6			4		退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)			
		農業生産分野専攻実験Ⅰ	3前		2			7	6		2	3	退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)			
		農業生産分野専攻実験Ⅱ	3後		2			6			4		退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)			
		農業生産分野専攻実験Ⅱ	3前		2			7	6		2	3	退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)			
		農業生産特別研究演習Ⅰ	3後		2			6			4		退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)			
		農業生産特別研究演習Ⅰ	3前		2			7	6		2	3	退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)			
		農業生産特別研究演習Ⅱ	3後		2			6			4		退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)			
		農業生産特別研究演習Ⅱ	3前		2			7	6		2	3	退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)			
		農業生産特別研究演習Ⅱ	3後		2			6			4		退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)			

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
農 業 生 産 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	農業生産特別研究演習Ⅲ	4 前		2		7	6			2 3	退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)	
		農業生産特別研究演習Ⅳ	4 後		2		7	6			2 3	退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)	
		農業生産体験発表	4 前後		4		7	6			2 3	退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)	
		特別研究	4 通		12		7	6			2 3	退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)	
		植物病理学概論	2 前		2			+					退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)
		土壤微生物学	2 前		2			1					退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)
		総合防除学	2 前		2				1				退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)
		昆虫学	2 後		2			+				1	退職により教授から准教授へ変更(24)
		植物病理学各論Ⅰ	2 後		2				1				職名が、教授に変更となったため及び教育指導体制強化のため助教1名増(25)
		農薬環境科学	2 後		2				1				退職により教授から准教授へ変更(24)
		授粉生態学	3 前		2				+				職名が、教授に変更となったため(25)
		天敵学	3 前		2							1	採用により専任教員が担当(25)
		植物病理学各論Ⅱ	3 後		2				1				カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため配当年度を変更(26)
		植物保護学	3 前		2					1			退職により教授減(25)
		農業経済学	3 後		2					1			採用により助教増(25)
		農業市場経済学	2 後		2			+					退職により教授減(25)
		農業経営学	2 後		2				1				採用により助教増(25)
		農学史	2 後		2			1					退職により教授減(25)
		農史	2 後		2			1					採用により助教増(25)
		農政学	3 前		2			+					退職により教授減(25)
		地域経済学	3 前		2						1		採用により助教増(25)
		経済統計解析学	2・3 後		2					1			隔年開講 配当年度誤記のため訂正(24)
		農業会計情報学	3 前		2					1			退職により専任教員から兼任教員へ変更(27)
		開発経済学	3 前		2				+				退職により専任教員から兼任教員へ変更(27)
		農業経営形態論	3 後		2					1			退職により専任教員から兼任教員へ変更(27)
		農業思想史	3 後		2			1					退職により専任教員から兼任教員へ変更(27)
		環境経済学	3・4 後		2					1			隔年開講 配当年度誤記のため訂正(24)
森林生態学	3 後		2						1		採用により専任教員追加(25)		
森林植物学	1 後		2					1					
造林学	2 前		2					1					
測樹学	2 後		2					1					
			1 後		2				1				

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
農業 生産 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目									1		育児休業終了のため助教1名増及び兼任教員1名減(26)
		森林計画学	2前	2						1		育児休業のため専任教員から兼任教員へ変更(25)
		森林情報学	2後	2				1				
		森林土壌学	2後	2								兼 1
		森林水文学	3前	2					1			
		森林防災学	3後	2					1			
		森林経済学	2後	2				1				
		林政学	2後	2				1				
		森林バイオマス資源学	3前	2				1				
		森林利用学	3前	2				1				
		森林統計学	2前	2				1				
		山村経済学	3後	2				1				
		森林法律	3・4前	2				1				
		森林保護学	3前	2								兼 1
		森林風致学	3前	2								兼 1
		野生動物管理学	3前	2								兼 1
		畜産実習	2前	2								
		動物生理学	1前 1後	2								兼 1
		エネルギー代謝学	2前	2								兼 1
		植物生理学	3後	2								兼 1
		植物分子生物学	3前	2								兼 1
		細胞生理学	3前 3後	2								兼 2
		免疫学	2後	2								兼 1
		遺伝子機能学	2後	2								兼 1
		系統分類学	1前	2								兼 1
		多様性植物学	3後	2								兼 1
		分析化学	2・3前	2								兼 1
		生物化学Ⅱ	2前	2								兼 1
		分子生物学	2前	2								兼 1
		遺伝子工学	2後	2								兼 1
		タンパク質工学	2後	2								兼 1
		食品バイオテクノロジー	2後	2								兼 1
		生物有機化学	2後	2								兼 1
		動物細胞工学	3前	2								兼 1
		食品機能工学	3前	2								兼 1
		免疫工学	3前	2								兼 1
		植物細胞工学	3前	2								兼 1
		食品衛生学	3・4前	2								兼 1
		土壌物理学	1後	2								兼 1
		植物栄養生態学	3前	2								兼 1
		植物環境工学	3前	2								兼 1
		バイオマス利用学	3前	2								兼 1
		水と緑の環境工学	3前	2								兼 1
		水圏植物学	2前	2								兼 1
		水理学Ⅰ	2前	2								兼 1
		測量学Ⅰ	2前	2								兼 1
		生物環境ロボティクス	2後	2								兼 3
土壌生態学	2後	2								兼 1		
土壌生化学	2前	2								兼 1		
農地工学	2後	2								兼 1		
農地保全学	3後	2								兼 1		
											教育指導体制の強化により兼任教員2名増(26)	

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考				
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
森 林 学 教 育 コ ー ス	基 盤 科 目	物理学	1前		2								兼 6			
		化学	1前後 1前	2	2		1	1			1		兼 4	履修学生多数のため、後期にも開講(24)		
		生物学	1前 1前後 1前		2			1	2					兼 2	単位の必修・選択は誤記のため訂正(24) 教育指導体制強化のため、兼任教員1名増(26) 前期に履修者が偏ったため、前期に2クラス開講(25) 生物学に精通している教授の担当が可能となったため、1名准教授から教授へ変更(25)	
		地学	1前 1後		2									兼 2	履修学生多数のため、後期にも開講(24)	
		生物資源と農学 地域社会セミナー	1後 1後		2 2		1	2 1		1					カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)	
		生態学	1後	2			1	1 2						兼 3	准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)	
		統計学	1前		2				2 4					兼 1	教育体制の強化のため、准教授1名増(25)	
		基礎フィールド演習	1通 1前		2										教育指導体制の強化のため、准教授2名増(27)	
		細胞生物学 遺伝学	1前 1後 1後		2 2				1					兼 兼 1	より多様な体験をさせるため、年間を通じた演習としたことによる配当年次の変更(26)	
		動物学	1後		2		1							兼 3	カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)	
		植物学	1後		2		1	1						兼 3	サバティカル終了のため兼任教員1名増(27)	
		微生物学	1後		2		1							兼 2	サバティカルのため兼任教員1名減(26)	
		物理化学	1後		2									兼 1		
		有機化学I	1後		2									兼 1		
		基礎分子生物学	1後		2									兼 1		
		生物化学I	1後		2									兼 1		
		基礎土壌学	1後	2										兼 2		
		農学原論	1後		2		1									
		経済原論	1後		2								2		採用により助教1名増(26)	
		環境生物学	1後		2			3	3						兼 2	准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)
		水環境学	1後		2			2					4		兼 1	退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)
		基礎水理学	1後		2			3	4						兼 4	採用により兼任教員1名増(27)
		物理学基礎実験	2前		1										兼 3	退職により兼任教員1名減(26)
		地学基礎実習	2後 3前		1										兼 4	
		農業キャリア論	3前後		2										兼 2	
		農業生産学概論	1前	1			4								兼 1	誤記のため訂正(24)

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
森 林 学 教 育 コ ー ス	基 盤 科 目	森林学概論	1前	1			1	1					教育指導体制の強化のため、准教授1名増(27)	
		食と農の経済概論	1前	1			1				2		誤記のため訂正(24)	
		農林生態科学概論	1前	1			3 2 3	3 4			1		採用により助教1名増(26) 准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25) 退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)	
	専 攻 科 目	森 林 学 基 礎 セ ミ ナ ー	森林学基礎セミナー	1前	2			3 4	4 3			2 1		育児休業終了のため助教1名増(26) 育児休業のため助教1名減(25) 退職により教授1名減(24) 採用により准教授1名追加(24)
			三瓶の森実習	1前	1			3 4	4 3			2		育児休業終了のため助教1名増(26) 育児休業のため助教1名減(25) 退職により教授1名減(24) 採用により助教1名増(24)
			森林生態学	1後	2				2			1		採用により准教授1名増(24)
			樹木実習	2前	1				1					採用により准教授1名増(24)
			森林植物学	2前	2				1					採用により准教授1名増(24)
			造林学	2後	2				1					採用により准教授1名増(24)
			森林学実習Ⅰ	3前	1				2			1		カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため配当年次を変更(24)
			測樹学	1後	2				1				1	育児休業終了のため助教1名増及び兼任教員1名減(26)
			森林計画学	2前	2								1	兼 1 育児休業のため助教1名減(25)
			森林情報学	2後	2				1					育児休業終了のため助教1名増及び兼任教員1名減(26)教育指導体制強化のため教授2名増(26)
			森林調査実習	3前	2				1				1	兼 1 育児休業のため助教1名減(25)
			森林化学実験	2後	1								1	兼 1
		森林土壌学	2後	2									兼 1	
		森林水文学	3前	2					1				兼 1	
		森林立地学実習	3前	1					1				兼 1	
		森林防災学	3後	2					1					
		森林経済学	2後	2				1						
		林政学	2後	2				1						
		森林バイオマス資源学	3前	2				1						
		森林利用学	3前	2				1						
		森林学実習Ⅱ	3前	1				3 2	1			1		育児休業終了のため助教1名増及び教育指導体制強化のため教授1名増(26) 育児休業のため助教1名減(25)
		森林測量学実習	2前	1				1	1					カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため配当年次を変更(24)
		森林統計学	2前	2				1						
		森林学英语演習Ⅰ	3前	1					2			1		育児休業のため助教1名減(25)
森林学英语演習Ⅱ	3後	1				3	1							
専攻演習Ⅰ	3前	1				4	3			2		育児休業終了のため助教1名増(26) 育児休業のため助教1名減(25) 退職により教授1名減(24) 採用により准教授1名増(24)		

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
森 林 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	専攻演習Ⅱ	3後	1			4	3			2	育児休業終了のため助教1名増(26)		
											1	育児休業のため助教1名減(25)		
		専攻演習Ⅲ	4前	1			4	3			2	退職により教授1名減(24)		
												2	採用により准教授1名増(24)	
		専攻演習Ⅳ	4後	1			4	3			2	育児休業終了のため助教1名増(26)		
												1	育児休業のため助教1名減(25)	
		卒業論文	4通					4				2	退職により教授1名減(24)	
		山村経済学	4前後	8			4	3				2	採用により准教授1名増(24)	
		森林法律	3・4前		2		1						誤記のため訂正(24)	
		森林工学実習	3後		1		1							
		森林学特論	3前		2							兼	1	
		森林保護学	3前		2							兼	1	
			3・4前											隔年開講 配当年次誤記のため訂正(24)
		森林風致学	3前		2							兼	1	
		野生動物管理学	3前		2							兼	1	
		測量学Ⅰ	2前		2							兼	1	
		測量学Ⅱ	2後		2							兼	1	
										1				准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)
		昆虫学	2後		2			1				1		教育指導体制の強化により、助教1名増(25)
		土壌微生物学	2前		2			1						退職により教授から准教授へ変更(24)
		土壌生態学	2後		2							兼	1	
		農政学	3前		2			1				1		退職により教授1名減(25)
		農業市場経済学	2後		2			1				1		採用により助教1名増(25)
		農業経営学	2後		2				1					退職により教授1名減(25)
		農業経済学	2後		2				1					採用により助教1名増(25)
			3・4後											隔年開講 配当年次誤記のため訂正(24)
		環境経済学	3後		2				1					
土壌生化学	2前		2							兼	1			
水環境保全学	2後		2							兼	1			
水圏植物学	2前		2							兼	1			
流域水文学	2後		2							兼	1			
												3年次以降の具体的なカリキュラムの編成過程で、変更せざるを得なかったため(25)		
生物統計学	2後						1							
環境リスク学	2前		2							兼	1			
系統分類学	1前		2							兼	1			
汽水域生態学	3前		2							兼	1			
	3前									兼	3	教育指導体制の強化により兼任教員2名増(27)		
	未開講											担当教員の都合のため(26)		
環境と複雑系	3前		2							兼	1			
										兼	3	教育指導体制の強化により兼任教員2名増(26)		
生物環境ロボティクス	2後		2							兼	1			

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
森 林 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	森林実習Ⅰ	2前 1前		1								配当年次誤記のため訂正(26)
		森林実習Ⅱ	2後 1後		1								配当年次誤記のため訂正(26)
		森林実習Ⅲ	3前 2前		1								配当年次誤記のため訂正(26)
		森林実習Ⅳ	3後 2後		1								配当年次誤記のため訂正(26)
		植物病理学概論	2前		2			+					
農 林 生 態 科 学 教 育 コ ー ス	基 盤 科 目	物理学	1前		2								兼 6
		化学	1前後 1前		2			1	1		1		兼 4 履修学生多数のため、後期にも開講(24)
		生物学	1前 1前後 1前		2							3	兼 2 教育指導体制強化のため、兼任教員1名増(26) 前期に履修者が偏ったため、前期に2クラス開講(25) 生物学に精通している教授の担当が可能となったため、1名准教授から教授へ変更(25) 履修学生多数のため、後期にも開講(24)
		地学	1前 1後		2								兼 2 カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		生物資源と農学 地域社会セミナー	1後 1後		2 2			1	2 1		1		兼 2 准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)
		生態学	1後	2				1	1 2				兼 3 教育体制の強化のため、准教授を追加(25) 教育指導体制の強化のため、准教授2名増(27)
		統計学	1前	2					2 4				兼 1 より多様の体験をさせるため、年間を通した演習としたことによる配当年次の変更(26)
		基礎フィールド演習	1通 1前		2								兼 4 カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		細胞生物学 遺伝学	1前 1後 1後		2 2					1			兼 2 兼 1 サバティカル終了のため兼任教員1名増(27)
		動物学	1後	2				1					兼 3 サバティカルのため兼任教員1名減(26)
		植物学	1後	2				1	1				兼 3
		微生物学	1後	2				1					兼 2
		物理化学	1後	2									兼 1
		有機化学Ⅰ	1後	2									兼 1
		基礎分子生物学	1後	2									兼 1
		生物化学Ⅰ	1後	2									兼 1
		基礎土壌学	1後	2									兼 2
		農学原論	1後	2				1					
		経済原論	1後	2							1		

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基 盤 科 目		環境生物学	1 後	2			3	3			2		採用により助教1名増(26)	
		水環境学	1 後		2		2						准教授1名の職名が、教授に変更となつたため(25)	
		基礎水理学	1 後		2		3	4			4		退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)	
		物理学基礎実験	2 前		1								兼 2	
		地学基礎実習	2 後		1								兼 1	
		農業キャリア論	3 前後		2								兼 4	採用により兼任教員1名増(27)
		農業生産学概論	3 前後		2								兼 3	退職により兼任教員1名減(26)
		森林学概論	1 前	1									兼 4	
		食と農の経済概論	1 前	1									兼 2	
		農林生態科学概論	1 前	1				4					兼 1	誤記のため訂正(24)
農 林 生 態 科 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	農林生態科学基礎セミナー	1 前	2			2				2		退職により教授1名減(27)	
		農林生態科学実習	1 前	1			3	3			4		採用により助教1名増(26)	
		動物生態学実験	2 通	2			4	4					兼 1	准教授1名の職名が、教授に変更となつたため(25)
		植物病理学実験	2 通	2			2						退職により教授1名減及び採用により助教1名増(24)	
		微生物生態学実験	2 通	4			4	4					教授4は誤記のため訂正(24)	
		農林生態科学外書講読	2 前	1			1	1				1		退職により教授1名減(27)
		植物病理学概論	2 前	2			2						2	採用により助教1名増(26)
		土壤微生物学	2 前	2			3	3						准教授1名の職名が、教授に変更となつたため(25)
		総合防除学	2 前	2			2						4	退職により教授1名減及び採用により助教1名増(24)
								4	4					兼 1
						1	1						退職により専任教員から兼任教員へ変更(27)	

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
農 林 生 態 科 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	昆虫学	2後	2			1						教育指導体制の強化のため、助教1名増(25)
		植物病理学各論 I	2後	2			4	1			1		准教授の職名が、教授に変更となったため(25)
		農薬環境科学	2後	2					1				退職により教授から准教授へ変更(24)
		授粉生態学	3前	2				1	1				准教授の職名が、教授に変更となったため(25)
		天敵学	3前	2							1		教育指導体制の強化のため、専任教員が担当(25)
		植物病理学各論 II	3後			2	1						カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため配当年度を変更(26)
		植物保護学	3後	2				2	1				退職により教授1名減(27)
		農林生態科学専攻実験	3通	2				3	3			2	採用により助教1名増(26)
		農林生態科学専攻実験	3通	2				2	4	4		4	准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)
		農林生態科学専攻実験	3通	2				4	4				退職により教授1名減及び採用により助教1名増(24) 教授4は誤記のため訂正(24)
		農林生態科学専攻実験	3通	2				2				2	退職により教授1名減(27) 採用により助教1名増(26)
		専攻演習 I	3前	1				3	3			4	准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)
		専攻演習 I	3前	1				2	4	4			退職により教授1名減及び採用により助教1名増(24) 教授4は誤記のため訂正(24)
		専攻演習 I	3前	1				2				2	退職により教授1名減(27) 採用により助教1名増(26)
		専攻演習 II	3後	1				3	3			4	准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)
		専攻演習 II	3後	1				2	4	4			退職により教授1名減及び採用により助教1名増(24) 教授4は誤記のため訂正(24)
		専攻演習 II	3後	1				2				2	退職により教授1名減(27) 採用により助教1名増(26)
		卒論演習	4通	2				3	3			4	准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)
		卒論演習	4通	2				2	4	4			退職により教授1名減及び採用により助教1名増(24) 教授4は誤記のため訂正(24)
		卒論演習	4通	2				2				2	退職により教授1名減(27) 採用により助教1名増(26)
卒業論文	4通	8				3	3			4	准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)		
卒業論文	4通	8				2	4	4			退職により教授1名減及び採用により助教1名増(24) 教授4は誤記のため訂正(24)		
動物生理学	1前			2								カリキュラムの具体的な編成の過程で、後期を前期に変更せざるを得なかったため(24)	
発生生物学	1後			2								兼 1	
比較解剖学	1後			2								兼 1	
極限環境生物学	2後			2								兼 2	
エネルギー代謝学	2前			2								兼 4	
細胞構造学	2後			2								兼 1	
植物生理学	3後			2								兼 1	
植物分子生物学	3前			2								兼 1	

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
農 林 生 態 科 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	細胞生理学	3前 3 後		2							兼 2	カリキュラムの具体的な編成の過程 で、後期を前期に変更せざるを得な かったため(24)	
		免疫学	2後		2							兼 1		
		行動生理学	2 後		2								兼 1	授業科目の廃止(27)
		動物生理生態学	2後		2								兼 1	授業科目の追加(27)
		分子細胞学	2前		2								兼 1	
		生命体構造学	2前		2								兼 1	
		遺伝子機能学	2後		2								兼 1	
		系統分類学	1前		2								兼 1	
		器官形成学	2 後		2								兼 1	授業科目の廃止(26)
		比較内分泌学	2後		2								兼 1	
		生体情報学	3後		2								兼 2	
		形態形成学	3前		2								兼 2	
		進化遺伝学	3前		2								兼 1	
		多様性植物学	3後		2								兼 1	
		生態学通論	2後		2								兼 1	授業科目の追加(26)
		臨海実習 I	2前		2		1						兼 1	誤記のため訂正(24)
		臨海実習 II	2前		2		1						兼 1	誤記のため訂正(24)
		臨海実習 III	2前		2		1						兼 1	誤記のため訂正(24)
		生物科学特論 I	2後 3 後		2								兼 1	カリキュラムの見直しのため配当年次 を変更(26)
		生物科学特論 II	2前 2 後		2								兼 1	カリキュラムの見直しのため配当年次 を変更(26)
		生物科学特論 III	2前 3 前		2								兼 1	カリキュラムの見直しのため配当年次 を変更(26)
		生物科学特論 IV	2前		2								兼 1	
		分析化学	2・3前		2								兼 1	
		生物化学 II	2前		2								兼 1	
		有機化学 II	2前		2								兼 1	
		分子生物学	2前		2								兼 1	
		分子細胞生物学 I	2前		2								兼 1	
		化学生物学	2前		2								兼 1	
		生命分子分光學	2前		2								兼 1	
		分子細胞生物学 II	2後		2								兼 1	
		遺伝子工学	2後		2								兼 1	
		タンパク質工学	2後		2								兼 1	
		光情報生物化学	2後		2								兼 1	
		微生物機能工学	2後		2								兼 1	
		食品バイオテクノロジー	2後		2								兼 1	
		栄養情報工学	2後		2								兼 1	
		生物有機化学	2後		2								兼 1	
		動物細胞工学	3前		2								兼 1	
		バイオシグナル工学	3前		2								兼 1	
		分子認識工学	3前		2								兼 1	
		生物制御化学	3前		2								兼 1	
		分子神経科学	3前		2								兼 1	
微生物工学	3前		2								兼 1			
医薬バイオテクノロジー	3前		2								兼 1			
食品機能工学	3前		2								兼 1			
免疫工学	3 前		2								兼 1	授業科目の廃止(27)		
植物細胞工学	3前		2								兼 1			
食品生化学	3・4前		2								兼 1			
食品衛生学	3・4前		2								兼 1			
生命情報工学特論	3・4前		2								兼 1			
応用生命工学特論	3・4前		2								兼 1			

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
農 林 生 態 科 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	農業生産の基礎	1 後		2		4	1			3		採用により助教1名増(26)		
											2		教育指導体制の変更により、助教1名減(25)		
												3		助教の採用により、教授から助教へ変更(24)	
												2		退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)	
														退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)	
				農場基礎実習Ⅲ	2 前 1 前		2		2	3			4	兼 1	退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更(25)
															誤記のため訂正(24)
															退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)
				農場基礎実習Ⅳ	2 後 1 後		2		2	3			4	兼 1	退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更(25)
															誤記のため訂正(24)
															退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)
															退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更(25)
				農場専門実習 農作業学	2 前 2 前		2 2		2 2	3 1			4	兼 1	
															3年次以降の具体的なカリキュラムの編成過程で、変更せざるを得なかったため(25)
				生物統計学 作物学	2 後 2 前 2 前		2 2		1 1	1			1		採用により助教1名増(26)
				耕地栽培学 植物育種学 果樹園芸学	2 前 2 前 2 前		2 2 2		1 1 1	1 1 1					
				野菜園芸学 資源作物学	2 前 2 後		2 2		4		1				教育指導体制の強化のため、教授1名増(25)
				作物栄養学 アグリバイオテクノロジー	2 後 2 後		2 2			3				兼 1	
															退職により教授1名減及び採用により助教1名増(26)
				施設園芸学	2 後		2		2				1		退職により教授1名減及び採用により助教1名増(26)
				花卉園芸学 園芸利用学	2 後 2 後		2 2		2 1	1 1			1		退職により教授1名減及び採用により助教1名増(26)
															3年次以降の具体的なカリキュラムの編成過程で、変更せざるを得なかったため(25)
				家畜栄養学 家畜繁殖学	2 前 2 後 2・3 前		2 2		1					兼 1	
		熱帯農学	2・3 後 2・3 前		2							兼 1	兼任教員の都合により後期に変更(25)		
													兼任教員の都合により後期に変更(25)		
		作物研究特別講義	2・3 後 2・3 前 2・3 後		2							兼 1	兼任教員の都合により前期に変更(24)		
		園芸研究特別講義	2・3 前 2・3 後		2							兼 1	兼任教員の都合により前期に変更(24)		
		農業生産学専門実験Ⅰ	3 前		2		2 4	2			1		教育指導体制の強化のため、教授1名及び助教1名増(25)		

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
農 林 生 態 科 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	農業生産学専門実験Ⅱ	3後		2		3	1			1		教育指導体制の強化のため、助教1名増(25)	
		三瓶の森実習	1前	1			3	4			2		育児休業終了のため助教1名増(26)	
		森林生態学	1後	2			4	3			1		育児休業のため助教1名減(25)	
		樹木実習	2前	1					1			1		退職により教授1名減(24)
		森林植物学	2前	2					1					採用により准教授1名増(24)
		造林学	2後	2					1					採用により准教授1名増(24)
		森林学実習Ⅰ	3前						2					採用により准教授1名追加(24)
		測樹学	2前 1後	1 2					1 1			1		採用により准教授1名追加(24)
		森林計画学	2前	2										カリキュラムの具体的な編成の過程で 変更せざるを得なかったため配当年次 を変更(24)
		森林情報学	2後	2					1					育児休業終了のため助教1名増及び兼 任教員1名減(26)
		森林化学実験	2後	1								1		兼 1 育児休業のため助教1名減(25)
		森林土壌学	2後	2										兼 1
		森林水文学	3前	2					1					兼 1
		森林立地学実習	3前	1					1					兼 1
		森林防災学	3後	2					1					
		森林経済学	2後	2				1						
		林政学	2後	2				1						
		森林バイオマス資源学	3前	2				1						
		山村経済学	3後	2				1						
		森林法律	3・4前	2				1						
		森林利用学	3前	2				1						
		森林工学実習	3後	1				1						
		森林学実習Ⅱ	3前	1				3	1			1		育児休業終了のため助教1名増及び教 育指導体制強化のため教授1名増(26)
		森林測量学実習	3前 2前	1				1	1			1		育児休業のため助教1名減(25)
		森林統計学	2前	2				1						カリキュラムの具体的な編成の過程で 変更せざるを得なかったため配当年次 を変更(24)
		森林学特論	3前	2										兼 1
		森林保護学	3前	2										兼 1
		森林風致学	3・4前	2										隔年開講 配当年次誤記のため訂正(24)
		野生動物管理学	3前	2										兼 1
		農業経済学	2後	2					1					
		農業市場経済学	2後	2				4					1	退職により教授1名減(25)
農業経営学	2後	2					1					採用により助教1名増(25)		
農学史	2後	2				1								
農史	2後	2				1								
農政学	3前	2									1	退職により教授1名減(25)		
地域経済学	3前	2					4		1			採用により助教1名増(25)		
経済統計解析学	2・3後	2										隔年開講 配当年次誤記のため訂正(24)		
農業会計情報学	2後 3前	2					1							
開発経済学	3前	2										兼 1 退職により専任教員から兼任教員へ変 更(27)		
農業経営形態論	3後	2									1			

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
農林生態科学教育コース	専攻科目	農業思想史	3後		2		1							
		環境経済学	3・4後		2			1					隔年開講 配当年次誤記のため訂正(24)	
			3前										兼 3 教育指導体制の強化により兼任教員2名増(27)	
			未開講										担当教員の都合のため(26)	
		環境と複雑系	3前		2								兼 4	
		汽水域生態学	3前		2								兼 1	
			2前											
		土壌物理学	4後		2									兼 1 誤記のため訂正(24)
		植物栄養生態学	3前		2									兼 1
		植物環境工学	3前		2									兼 1
		水圏動物学	2前		2									兼 1
		バイオマス利用学	3前		2									兼 1
		実用分析化学												兼 1
		分析化学	2後		2									誤記のため訂正(24)
		流域水文学	2後		2									兼 1
		環境リスク学	2前		2									兼 1
		水と緑の環境工学	3前		2									兼 1
		水環境保全学	2後		2									兼 1
		水圏植物学	2前		2									兼 1
		水圏生態学	2後		2									兼 1
		水質環境工学	3前		2									兼 1
		水質水文学	3前		2									兼 1
		水文統計学	3後		2									兼 1
		水理学Ⅰ	2前		2									兼 1
水理学Ⅱ	2後		2									兼 1		
												兼 3 教育指導体制の強化により兼任教員2名増(26)		
生物環境ロボティクス	2後		2									兼 4		
地域計画学	2前		2									兼 1		
土壌生化学	2前		2									兼 1		
土壌生態学	2後		2									兼 1		
農地工学	2後		2									兼 1		
農地保全学	3後		2									兼 1		
農村経済学教育コース	基盤科目	物理学	1前		2								兼 6	
			1前後											
		化学	4前		2		1	1			1		兼 4 履修学生多数のため、後期にも開講(24)	
													兼 3 教育指導体制強化のため、兼任教員1名増(26)	
													兼 3 前期に履修者が偏ったため、前期に2クラス開講(25)	
							1	2					生物学に精通している教授の担当が可能となったため、1名准教授から教授へ変更(25)	
		生物学	1前										兼 2 履修学生多数のため、後期にも開講(24)	
			4前後											
		地学	4後		2								兼 2 カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)	
		生物資源と農学	1後		2		1	2						
地域社会セミナー	1後		2					1						
									1			兼 3 准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)		
生態学	1後		2						2			兼 3		
									2					
統計学	1前	2							4			兼 1 教育体制の強化のため、准教授を追加(25)		
									2			兼 2 教育指導体制の強化のため、准教授2名増(27)		
基礎フィールド演習	1通											兼 4 より多様な体験をさせるため、年間を通した演習としたことによる配当年次の変更(26)		
	4前			2										

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
農村経済学教育コース	基盤科目	細胞生物学	1前										カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24) 兼 2 兼 1 兼 3 サバティカル終了のため兼任教員1名増(27) 兼 2 サバティカルのため兼任教員1名減(26) 兼 3 兼 3 兼 2 兼 1 兼 1 兼 1 兼 2 採用により助教1名増(26) 准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25) 退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24) 兼 2 兼 1 兼 4 採用により兼任教員1名増(27) 兼 3 退職により兼任教員1名減(26) 兼 4 兼 2 兼 1 誤記のため訂正(24) 教育指導体制の強化のため、准教授1名増(27) 誤記のため訂正(24) 採用により助教1名増(26) 准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25) 退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)	
		遺伝学	1後		2				1					
		動物学	1後		2			1						
		植物学	1後		2			1	1					
		微生物学	1後		2			1						
		物理化学	1後		2									
		有機化学I	1後		2									
		基礎分子生物学	1後		2									
		生物化学I	1後		2									
		基礎土壌学	1後		2									
		農学原論	1後		2			1						
		経済原論	1後	2							1			
		環境生物学	1後		2			3	3			2		
		水環境学	1後		2			2				1		
		基礎水理学	1後		2			3	4					
		物理学基礎実験	2前		1									
		地学基礎実習	2後		1									
		農業キャリア論	3前		2									
		農業生産学概論	3前後		2									
		森林学概論	1前	1				4						
食と農の経済概論	1前	1				1	1							
農林生態科学概論	1前	1				3	3			2				
						2				1				
						3	4							
専攻科目	ミクロ経済学	2前	2					1				退職により専任教員から兼任教員へ変更(27) 兼 1 退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26) 退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更(25) 退職により教授1名減(25) 採用により助教1名増(25) 退職により准教授1名減(27)		
	マクロ経済学	2前	2					1						
	農場基礎実習Ⅲ	2前	2			2	3			1				
	農業経済学	2後	2				1							
	農業市場経済学	2後	2			4								
	農業経営学	2後	2				1							
	農学史	2後	2			1								
	農史	2後	2			1								
	農村経済学セミナー	2後	2			1	2							
	農村調査分析論	2通	4			2	1	1		1				

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
農村 経済 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	農政学	3前	2			1				1		退職により教授1名減(25) 採用により助教1名増(25)	
		地域経済学	3前	2						1			退職により准教授1名減(27)	
		専攻演習Ⅰ	3前	1				2 3	4 3	1		1	退職により教授1名減(25) 採用により助教1名増(25) 退職により准教授1名減(27)	
		専攻演習Ⅱ	3後	1				2 3	4 3	1		1	退職により教授1名減(25) 採用により助教1名増(25) 退職により准教授1名減(27)	
		専攻演習Ⅲ	4前	1				2 3	4 3	1		1	退職により教授1名減(25) 採用により助教1名増(25) 退職により准教授1名減(27)	
		専攻演習Ⅳ	4後	1				2 3	4 3	1		1	退職により教授1名減(25) 採用により助教1名増(25) 退職により准教授1名減(27)	
		卒業論文	4通	8				2 3	4 3	1		1	退職により教授1名減(25) 採用により助教1名増(25) 退職により准教授1名減(27)	
		農村経済学基礎セミナー	1前 2・3後		2			2 3	4	1		1	退職により教授1名減(25) 採用により助教1名増(25)	
		経済統計解析学	2後		2				1				隔年開講 配当年次誤記のため訂正(24)	
		農業会計情報学	3前		2				1				退職により専任教員から兼任教員へ変更(27)	
		開発経済学	3前		2				4					
		農業経営形態論	3後		2				1					
		農業思想史	3後 3・4後		2			1						
		資源管理学	3後 3・4後		2				1				隔年開講 配当年次誤記のため訂正(24)	
		環境経済学	3後		2				1				隔年開講 配当年次誤記のため訂正(24)	
		農場基礎実習Ⅳ	2後		2			2	3		4	3	退職により教授1名減及び採用により助教2名増(26)	
		農業生産の基礎	1後		2			4	1			2	退職により准教授1名減及び助教1名の職名が准教授に変更となったため(25)	
		農作業学	2前		2				1				採用により助教1名増(26)	
		作物学	2前		2			1				2	教育指導体制の変更により、助教1名減(25)	
		耕地栽培学	2前		2				1			1	助教の採用により、教授から助教へ変更(24)	
		植物育種学	2前		2			1	1				採用により助教1名増(26)	
		果樹園芸学	2前		2			1	1					
		野菜園芸学	2前		2			2	4				教育体制の強化のため教員を追加(25)	
		資源作物学	2後		2				1					
		作物栄養学	2後		2									
		アグリバイオテクノロジー	2後		2				3				兼 1	
		家畜栄養学	2前 2後		2			1						3年次以降の具体的なカリキュラムの編成過程で、変更せざるを得なかったため(25)
		造林学	2後		2				1					育児休業終了のため助教1名増及び兼任教員1名減(26)
		森林計画学	2前		2							4	兼 4	育児休業のため助教1名減(25)
		森林防災学	3後		2				1					

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
農村 経済 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	森林経済学	2後		2		1						職名が、教授に変更となったため及び 教育指導体制強化のため助教1名増 (25) 退職により教授から准教授へ変更(24) 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 誤記のため訂正(24) 兼 1 兼 1 兼 1 採用により准教授1名追加(24)
		林政学	2後		2		1						
		山村経済学	3後		2		1						
		森林法律	3・4前		2		1						
		植物病理学概論	2前		2		1						
		土壌微生物学	2前		2		1						
		総合防除学	2前		2			1					
		昆虫学	2後		2		1						
		地域計画学	2前		2								
		経済政策論Ⅰ	2前		2								
		経済政策論Ⅱ	2後		2								
		企業法Ⅰ	3後		2								
		財政学Ⅰ	3前		2								
		財政学Ⅱ	3後		2								
		民法Ⅰ	4前		2								
森林生態学	1後		2				1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

教育 コース	認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
	必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
農 業 生 産 学	科目 11	科目 133	科目	科目 144	科目 11 [-]	科目 132 [△1]	科目	科目 143 [-]	
森 林 学 教 育	科目 37	科目 56	科目	科目 93	科目 37 [-]	科目 56 [-]	科目	科目 93 [-]	
農 林 生 態 学	科目 30	科目 169	科目	科目 199	科目 30 [-]	科目 168 [△1]	科目	科目 198 [-]	
農 村 経 済 学	科目 23	科目 64	科目	科目 87	科目 23 [-]	科目 64 [-]	科目	科目 87 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	免疫工学	2	3前	専門	選択	兼任教員（他学科専任教員）の退職のため。代替措置はなし。
2	行動生理学	2	2後	専門	選択	兼任教員（他学科専任教員）の退職のため。代替措置として他の授業科目を新規で開講した。
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止授業科目のうち、「免疫工学」については、4つの教育コースのうち2教育コースの選択科目であるが、それぞれ当該教育コース開講選択科目133科目中1科目、169科目中1科目であること、また、当該科目は免疫学分野であり、当該分野は他の科目が開講されていることから影響はない。
 「行動生理学」については、4つの教育コースのうち1教育コースの選択科目であり、当該教育コース開講選択科目169科目中1科目であること、また、当該科目は生理学分野であり、当該分野は他の科目が開講されていることから影響はない。また、追加で開講する生理学分野の科目を新たに提供できるため、学生はより広い分野から授業を選択できることとなった。
 なお、廃止は平成27年度入学生から適用のため、「履修の手引」（冊子）で全員に周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

＜生物資源科学部 農林生産学科＞

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(補助職員 人) (補助職員 人)		
	室	室	室	室	室			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		(例) 平成27年4月 専任教授1名を新規採用のため(27)		
	〇〇学部 〇〇学科			(例) 16 15 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	([])	([])	([])	()	()	()	
	計	([])	([])	([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

<生物資源科学部 農林生産学科>

大学の名称	島根大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は 称号	平均入 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	3年次 人	人		倍			
法文学部			10	20				島根県松江市西川 津町1060	
法経学科	4	90		360	学士（法経）	1.04	平成16 年度		
社会文化学科	4	70		280	学士（社会科学）	1.06	平成16 年度		
言語文化学科	4	65		260	学士（文学）	1.07	平成16 年度		
教育学部 学校教育課程	4	170		680	学士（教育学）	1.03	平成16 年度	島根県松江市西川 津町1060	
医学部			10	40					
医学科	6	102		610	学士（医学）	1.00	平成15 年度	島根県出雲市塩冶 町89-1	
看護学科	4	60	10	240	学士（看護学）	1.03	平成15 年度		
総合理工学部			12	24					
物質科学科	4	130		520		1.04	平成15 年度	島根県松江市西川 津町1060	
地球資源環境学科	4	50		200		1.01	平成15 年度		
数理・情報システム学科	4	100		400	学士（総合理工学）	1.04	平成15 年度		
機械・電気電子工学科	4	80		320		1.04	平成15 年度		
建築・生産設計工学科	4	40		160		1.11	平成15 年度		
生物資源科学部			20	40					
生物科学科	4	30		120		1.06	平成15 年度	島根県松江市西川 津町1060	
生命工学科	4	40		160	学士（生物資源科学）	1.09	平成15 年度		
農林生産学科	4	85		340		1.04	平成24 年度		
地域環境科学科	4	45		180		1.09	平成24 年度		
人文社会科学研究科 法経専攻	2	6		12	修士（法学） 修士（経済学） 修士（社会科学）	1.08	平成16 年度	島根県松江市西川 津町1060	
言語・社会文化専攻	2	6		12	修士（言語文化）	1.00	平成16 年度		
教育学研究科 教育実践開発専攻	2	20		40	修士（教育学）	0.80	平成20 年度	島根県松江市西川 津町1060	
教育内容開発専攻	2	20		40		0.80	平成20 年度		
医学系研究科 医科学専攻	4	30		120	博士（医学）	1.01	平成20 年度	島根県出雲市塩冶 町89-1	
医科学専攻	2	15		30	修士（医科学）	0.83	平成16 年度		
看護学専攻	2	12		24	修士（看護学）	0.95	平成15 年度		

総合理工学研究科 総合理工学専攻	3	12	24	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	1.08	平成26 年度	島根県松江市西川 津町1060	平成27年学生 募集停止
総合理工学専攻	2	124	248	修士（総合理工学） 修士（理学） 修士（工学）	0.97	平成24 年度		
生物資源科学研究科 生物生命科学専攻	2	20	40		0.97	平成20 年度	島根県松江市西川 津町1060	
農林生産科学専攻	2	22	44	修士（生物資源科学）	0.65	平成20 年度		
環境資源科学専攻	2	18	36		1.08	平成20 年度		
法務研究科 法曹養成専攻	3	-	-	法務博士（専門職）	-	平成16 年度	島根県松江市西川 津町1060	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学
科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月
1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている
場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上
の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の
平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，
「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生物資源科学部学部 農林生産学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、<〇〇学部 △△学科>の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
18	17	1	5	41	13	16	1	9	39				
(15)	(18)	(1)	(6)	(40)	[△5]	[△1]	[-]	[4]	[△2]	65歳	0名	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

<生物資源科学部 農林生産学科>

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		留意事項		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<生物資源科学部 農林生産学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
/	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等	
---	--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書 a 公表（予定）時期 b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成27年 5月15日)

1 調査対象大学等の概要等

<生物資源科学部 地域環境科学科>

(1) 設置者

国立大学法人 島根大学

(2) 大学名

島根大学

(3) 大学の位置

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
 平成27年度に報告する内容 → (27)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合 (平成27年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

<生物資源科学部 地域環境科学科>

調査対象学部等の 名称 (学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	
生物資源科学部 地域環境科学科 学士 (生物資源科学)	4 年	45 人	※ 3年次 人	180 人 ※編入学定員は学科単位ではなく, 学部単位で設定している。(20名)

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

<生物資源科学部 地域環境科学科>

区分	平成24年度			平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学			春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
入学定員	農業生産学科 30 (-) [-]	生態環境科学科 45 (-) [-]	地域開発科学科 55 (-) [-]	A 入学定員 45 (-) [-]		45 (※) [-]		45 (※) [-]		1.09倍	-	・平成24年度入試は、学生募集から入学者の決定まで一貫して旧3学科の名称で行い、3学科への入学者を、志願時に調査した希望をもとに新設2学科へ分けている。 平成24年度は、その他の学期については該当なし。 ・編入学定員は学科単位ではなく、学部単位で設定している(20名)
志願者数	145 (-) [3]	185 (-) [8]	368 (-) [8]	200 (-) [7]		264 (5) [4]		120 (4) [2]				
受験者数	144 (-) [3]	138 (-) [8]	263 (-) [8]	152 (-) [7]		215 (5) [4]		82 (4) [2]				
合格者数	34 (-) [2]	55 (-) [0]	66 (-) [4]	52 (-) [1]		54 (3) [1]		53 (4) [2]				
入学者数	31 (-) [1]	53 (-) [0]	63 (-) [3]	B 入学者数 48 (-) [0]		46 (2) [0]		48 (1) [0]				
A 入学定員	農林生産学科 85人		地域環境科学科 45人	入学定員超過率 B/A		1.06		1.02				
B 入学者数	91人		56人									
入学定員超過率 B/A	1.07		1.24									

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数**で算出してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 - ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

<生物資源科学部 地域環境科学科>

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] (-) 56	[-] (-) -	[-] (-) 48	[-] (-) -	[-] (-) 46	[-] (-) -	[-] (-) 48	[-] (-) -	
2年次	/		[3] (-) 56	[-] (-) -	[-] (-) 46	[-] (-) -	[-] (-) 46	[-] (-) -	
3年次			/		/		[3] (-) 56	[-] (-) -	[-] (-) 47
4年次	/						/		/
計			[3] (-) 56	[3] (-) 104	[3] (-) 148	[3] (-) 194			

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<生物資源科学部 地域環境科学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	56 人	4 人	平成24年度	人	人	除籍(1人) 家庭の事情(1人), 就職(1人), 進路変更 (1人)	7.1 %
			平成25年度	1 人	人		
			平成26年度	3 人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	48 人	1 人	平成25年度	1 人	人	他の教育機関への入学・転学(1人)	2.1 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	46 人	0 人	平成26年度	人	人		0.0 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	48 人	0 人	平成27年度	人	人		0.0 %
合 計	198 人	5 人					2.5 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生物資源科学部 地域環境科学科>

(1) 授業科目表

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手			
生態 環境 科学 教育 コース	基 盤 科 目	物理学	1前		2		2	1					准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)	
		化学	1前後 1前		2		4	2		1		兼 3	カリキュラムの具体的な編成の過程で、物理学の教育に精通している教授の担当が可能となったため、助教から教授に変更(24)	
		生物学	1前 1前後 1前		2								兼 7	履修学生多数のため、後期にも開講(24)
		地学	1前 1後		2		1	1					兼 6	教育指導体制強化のため、兼任教員1名増(26)
		生物資源と農学	1後		2								兼 3	前期に履修者が偏ったため、前期に2クラス開講(25)
		地域社会セミナー	1後		2								兼 2	履修学生多数のため、後期にも開講(24)
		生態学	1後	2									兼 5	カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		統計学	1前	2				1					兼 2	より多様な体験をさせるため、年間を通じた演習としたことによる配当年次の変更(26)
		基礎フィールド演習	1通 1前		2								兼 6	教育指導体制強化のため、兼任教員2名増(27)
		細胞生物学	1前 1後		2								兼 4	カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		遺伝学	1後		2								兼 2	サバティカル終了のため兼任教員1名増(27)
		動物学	1後		2								兼 4	サバティカルのため兼任教員1名減(26)
		植物学	1後		2								兼 5	
		微生物学	1後		2								兼 3	
		物理化学	1後		2								兼 1	
		有機化学I	1後		2								兼 1	
		基礎分子生物学	1後		2								兼 1	
		生物化学I	1後		2								兼 1	
		基礎土壌学	1後	2			1	1					兼 1	退職により准教授減(24)
		農学原論	1後		2								兼 1	
		経済原論	1後		2								兼 1	
		環境生物学	1後	2									兼 8	採用により兼任教員1名増(26)
		水環境学	1後	2			1	2					兼 7	カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため、准教授を2名から1名に変更(24)
		基礎水理学	1後	2				1					兼 2	採用により助教1名増(27)
		物理学基礎実験	2前	1					2				兼 1	退職により准教授1名減(26)
		地学基礎実習	2後	1			1	1					兼 1	教育指導体制強化のため、助教1名増(25)

教育コース	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
生態環境科学教育コース	基盤科目	農業キャリア論	3前									兼1	誤記のため訂正(24) 教育指導体制強化のため、兼任教員1名増(27)		
		農業生産学概論	3前後 1前	2 1								兼4			
		森林学概論	1前	1										兼4	
		食と農の経済概論	1前	1										兼1	
		農林生態科学概論	1前	1										兼8 兼7	採用により兼任教員1名増(26)
		水環境保全学	2後	2				1							助教の職名が、准教授に変更となったため(24) 他の専門教育科目を履修する際の基礎となる科目のため、配当年次を半期前に変更(26) 准教授の職名が、教授に変更となったため(25) 教育指導体制の強化のため、教授1名及び准教授1名増(27) 担当教員の都合のため(26) 教育指導体制の強化のため、教授及び准教授1名増(26) 教育指導体制の強化により教授2名増(26) カリキュラムの見直しに伴い、選択科目へ変更(26) 応用数学Ⅰの配当年次を半期前に変更したことに伴う変更(26) 退職により准教授から講師へ変更(24) 教育指導体制の強化のため、准教授1名増(26) 教育指導体制の変更により、講師から教授へ変更(25) 教育指導体制の変更により、講師から教授へ変更(25)
		水圏生態学	2後	2					1		4			兼1	
	汽水域生態学	3前	2												
	土壌生態学	2後	2					1							
	土壌生化学	2前	2		2			1							
	植物栄養生態学	3前	2				1								
	水質環境工学	3前	2				1								
	水圏植物学	2前	2									兼1			
	環境リスク学	2前	2									兼1			
	水圏動物学	2前	2									兼1			
	バイオマス利用学	3前		2						1					
		1前													
	応用数学Ⅰ	1後		2			1								
	実用分析化学	2後	2					1							
	植物環境工学	3前	2									兼1			
		3前					1	2							
		未開講													
	環境と複雑系	3前	2												
	現代物理化学	2前	2				1	2							
	生物環境ロボティクス	2後	2												
水と緑の環境工学	3前	2				1									
土壌物理学	2前	2						1							
構造力学の基礎	2前	2				1	1								
	1後														
応用数学Ⅱ	2前	2													
水理学Ⅰ	2前	2						1							
測量学Ⅰ	2前	2							1						
測量学Ⅱ	2後	2								1					
構造力学	2後	2				1									
土質工学Ⅰ	2前	2				1	1								
土質工学Ⅱ	2後	2				1	1								
かんがい排水学Ⅰ	3前	2								1					
かんがい排水学Ⅱ	3後	2									1				
水質水文学	3前	2		2		1									
流域水文学	2後	2				1									

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
生態 環境 科学 教育 コース	専 攻 科 目	水利施設工学 I	3 前		2		1						教育指導体制の強化のため、准教授 1 名増 (26) カリキュラムの見直しに伴い、選択科目へ変更 (25) 退職により准教授から講師へ変更 (24) 応用数学 II の配当年次を半期前に変更したことに伴う変更 (26) 准教授の職名が、教授に変更となったため (25) 教育指導体制の変更により教授から助教へ変更 (25) 採用により助教 1 名増 (27) 退職により准教授 1 名減 (26) 退職により准教授 1 名減 (26) 助教 1 名の職名が准教授に変更となったため (24) 教育指導体制の変更により助教減 (25) 教育指導体制の変更により教授 1 名減及び採用により助教 1 名増 (27) 教育指導体制の変更により助教減 (25) 准教授 1 名の職名が、教授に変更となったため (25) 兼 1 兼 1 教育指導体制の変更により准教授減 (25) 教育指導体制の変更により准教授減、助教増 (25) 採用により助教 1 名増 (27) 退職により准教授 1 名減 (26) 採用により助教 1 名増 (27) 退職により准教授 1 名減 (26) 採用により助教 1 名増 (27) 退職により准教授 1 名減 (26) 採用により助教 1 名増 (27) 退職により准教授 1 名減 (26) 採用により助教 1 名増 (27) 退職により准教授 1 名減 (26) 准教授 1 名の職名が、教授に変更となったため (25) 誤記のため訂正 (24) カリキュラムの変更に伴う配当年次の変更 (26)
		コンクリート工学 地域計画学	3 前 2 前		2 2		1 1						
		農地保全学 水理学 II 構造設計論	3 後 2 後 3 後	2		2 2 2		1 1 1		1			
		応用数学 III 農地工学	2 前 2 後 2 後			2 2		1 1		1		1	
		水文統計学 水利施設工学 II	3 後 3 後			2 2		1 1					
		地域環境科学入門	1 前	1				7	8	1		3	
		環境分析化学実験	2 前	1					1			2	
		生態環境科学実習	2 後	1				1	2			1	
		環境資源工学実習 測量実習 I 測量実習 II	2 後 2 前 2 後			1 1 1		1 1	2			1	
		水理学実験	3 前			1		1	1			1	
		土質工学実験 土木材料学実験	3 前 3 前			1 1		1 1	1			1	
		外書講読 I	2 前	1				7	8	1		3	
		外書講読 II	2 後			1		7	8	1		3	
		卒業論文	4 通	8				7	8	1		3	
		卒論演習 専攻特別実験 I	4 通 3 前	2		1		7 1	8 1	1		3	
		専攻特別実験 II 専攻特別実験 III 専攻特別実験 IV	3 前 3 前 3 前			1 1 1		1 1 1	1 2 1				
		生態環境科学特論	2 前 2 後			1							

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
生態 環境 科学 教育 コース	専 攻 科 目	環境資源工学特論	2後		1							兼 1	カリキュラムの具体的な編成の過程で 変更せざるを得なかったため前期に変更 (24) 教育指導体制強化のため、兼任教員1名 増(26) 授業科目の廃止(26) 授業科目の追加(26) 誤記のため訂正(24) 誤記のため訂正(24) 誤記のため訂正(24) 誤記のため訂正(24) 3年次以降の具体的なカリキュラムの 編成過程で、変更せざるを得なかった ため(25) 採用により、兼任教員1名増(26) 兼任教員の都合により後期に変更 (25)	
		動物生理学	1前									兼 1		
		発生生物学	1後		2									兼 1
		比較解剖学	1後		2									兼 1
		極限環境生物学	2後		2									兼 2
		植物生理学	3後		2									兼 1
		免疫学	2後		2									兼 1
		分子細胞学	2前		2									兼 1
		遺伝子機能学	2後		2									兼 1
		系統分類学	1前		2									兼 1
		器官形成学	2後		2									兼 1
		形態形成学	3前		2									兼 1
		進化遺伝学	3前		2									兼 1
		多様性植物学	3後		2									兼 1
		生態学通論	2後		2									兼 1
		臨海実習Ⅰ	2前		1									兼 1
		臨海実習Ⅱ	2前		1									兼 1
		臨海実習Ⅲ	2前		1									兼 1
		土壤微生物学	2前		2									兼 1
		農薬環境科学	2後		2									兼 1
		総合防除学	3前		2									兼 1
		植物保護学	3後		2									兼 1
		昆虫学	2後		2									兼 2
		授粉生態学	3前		2									兼 1
		森林生態学	1後											兼 1
		造林学	2後		2									兼 1
		森林水文学	3前		2									兼 1
		森林バイオマス資源学	3前		2									兼 1
		微生物工学	3前		2									兼 1
		資源作物学	2後		2									兼 1
		生物統計学	2後											兼 1
		作物学	2前		2									兼 1
		耕地栽培学	2前		2									兼 2
		野菜園芸学	2前		2									兼 1
		作物栄養学	2後		2									兼 1
		森林学特論	3前		2									兼 1
		生物学実験	3後		2									兼 13
		熱帯農学	2・3後											兼 1
		農業経済学	2・3前		2									兼 1
		農業市場経済学	2後		2									兼 1
農業経営学	2後		2								兼 1			
環境 資源 工学 教育 コース	基 盤 科 目	物理学	1前	2			2	1				兼 3	准教授1名の職名が、教授に変更と なったため(25) カリキュラムの具体的な編成の過程 で、物理学の教育に精通している教授 の担当が可能となったため、助教から 教授に変更(24)	

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
環境資源工学教育コース	基盤科目	化学	1前後 1前		2							兼 7	履修学生多数のため、後期にも開講(24)	
		生物学	1前 1前後 1前		2							兼 6	教育指導体制強化のため、兼任教員1名増(26) 前期に履修者が偏ったため、前期に2クラス開講(25)	
		地学	1前 1後		2		1	1					兼 5	履修学生多数のため、後期にも開講(24)
		生物資源と農学	1後		2								兼 3	カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		地域社会セミナー	1後		2								兼 2	
		生態学	1後	2									兼 5	
		統計学	1前	2					1				兼 6	教育指導体制強化のため、兼任教員2名増(27)
		基礎フィールド演習	1通 1前		2								兼 4	より多様の体験をさせるため、年間を通した演習としたことによる配当年次の変更(26)
		細胞生物学	1前 1後		2								兼 2	カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		遺伝学	1後		2								兼 2	
		動物学	1後		2								兼 4	サバティカル終了のため兼任教員1名増(27)
		植物学	1後		2								兼 5	サバティカルのため兼任教員1名減(26)
		微生物学	1後		2								兼 3	
		物理化学	1後		2								兼 1	
		有機化学I	1後		2								兼 1	
		基礎分子生物学	1後		2								兼 1	
		生物化学I	1後		2								兼 1	
		基礎土壌学	1後	2			1	4					兼 1	退職により准教授減(24)
		農学原論	1後		2								兼 1	
		経済原論	1後		2								兼 1	
		環境生物学	1後		2								兼 8	採用により兼任教員1名増(26)
		水環境学	1後	2					1				兼 7	カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため、准教授を2名から1名に変更(24)
		基礎水理学	1後	2									兼 2	採用により助教1名増(27)
		物理学基礎実験	2前		1								兼 1	退職により准教授1名減(26)
		地学基礎実習	2後 3前		1		1	1					兼 1	教育指導体制強化のため、助教1名増(25)
		農業キャリア論	3前後		2								兼 2	退職により准教授1名減(24)
		農業生産学概論	1前		1								兼 4	誤記のため訂正(24)
		森林学概論	1前		1								兼 2	教育指導体制強化のため、兼任教員1名増(27)
		食と農の経済概論	1前		1								兼 1	
		農林生態科学概論	1前		1								兼 8	採用により兼任教員1名増(26)

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
環境資源工学教育コース	専攻科目	水環境保全学	2後	2				1					助教の職名が、准教授に変更となったため(24)		
		水圏生態学	2後	2				1							
		汽水圏生態学	3前		2							1		兼 1	
		土壌生態学	2後		2				1						
		土壌生化学	2前		2				1						
		植物栄養生態学	3前		2			1							
		水質環境工学	3前	2				1							
		水圏植物学	2前		2									兼 1	
		環境リスク学	2前	2										兼 1	
		水圏動物学	2前		2									兼 1	
		バイオマス利用学	3前	2								1			
			1前												他の専門教育科目を履修する際の基礎となる科目のため、配当年次を半期前に変更(26)
		応用数学Ⅰ	1後		2			1							
		実用分析化学	2後	2					1						
		植物環境工学	3前		2				1				1	准教授の職名が、教授に変更となったため(25)	
			3前						1	2				教育指導体制の強化のため、教授1名及び准教授1名増(27)	
			未開講											担当教員の都合のため(26)	
		環境と複雑系	3前		2					1				教育指導体制の強化のため、教授及び准教授1名増(26)	
		現代物理化学	2前		2				1	2				教育指導体制の強化により教授2名増(26)	
		生物環境ロボティクス	2後		2				2					教育指導体制の強化により教授2名増(26)	
		水と緑の環境工学	3前	2					1						
		土壌物理学	2前	2							1				
		構造力学の基礎	2前		2				1	1					
			1後											応用数学Ⅰの配当年次を半期前に変更したことに伴う変更(26)	
		応用数学Ⅱ	2前		2					1					
		水理学Ⅰ	2前	2						1					
												1		退職により准教授から講師へ変更(24)	
		測量学Ⅰ	2前		2					1					
		測量学Ⅱ	2後		2							1		教育指導体制の強化のため、准教授1名増(26)	
		構造力学	2後		2				1						
		土質工学Ⅰ	2前		2				1	1					
		土質工学Ⅱ	2後		2				1	1					
かんがい排水学Ⅰ	3前	2								1		教育指導体制の変更により、講師から教授へ変更(25)			
												教育指導体制の変更により、講師から教授へ変更(25)			
かんがい排水学Ⅱ	3後		2							1					
水質水文学	3前	2					1								
流域水文学	2後		2				1								
水利施設工学Ⅰ	3前		2				1								
										1		教育指導体制の強化のため、准教授1名増(26)			
コンクリート工学	3前		2				1								
地域計画学	2前	2						1			1				
												退職により准教授から講師へ変更(24)			
農地保全学	3後	2								1					
水理学Ⅱ	2後		2							1					
構造設計論	3後		2				1	1							
	2前											応用数学Ⅱの配当年次を半期前に変更したことに伴う変更(26)			
応用数学Ⅲ	2後		2				1					准教授の職名が、教授に変更となったため(25)			
農地工学	2後	2								1					

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
環境 資源 工学 教育 コース	専 攻 科 目	水文統計学	3後		2		1				1		教育指導体制の変更により教授から助教へ変更(25)		
		水利施設工学Ⅱ	3後		2		1								
		地域環境科学入門	1前	1			7	8	1	3		4	採用により助教1名増(27) 退職により准教授1名減(26)		
		環境分析化学実験	2前	1				1	2		1	2	退職により准教授1名減(26) 助教1名の職名が准教授に変更となったため(24)		
		生態環境科学実習	2後		1		1	2			1	1	教育指導体制の変更により助教減(25) 教育指導体制の変更により教授1名減及び採用により助教1名増(27)		
		環境資源工学実習	2後	1			1	2			1	1	教育指導体制の変更により助教減(25) 准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)		
		測量実習Ⅰ	2前		1								兼 1		
		測量実習Ⅱ	2後		1								兼 1		
		水理学実験	3前		1		1	1				1		教育指導体制の変更により准教授減(25)	
		土質理工学実験	3前		1			1		1	1			教育指導体制の変更により准教授減、助教増(25)	
		土木材料学実験	3前		1		1	1							
		地域環境工学演習	3後		1			1	1					退職により准教授減(24)	
		外書講読Ⅰ	2前	1				7	8	1	3		4	採用により助教1名増(27) 退職により准教授1名減(26)	
		外書講読Ⅱ	2後		1			7	8	1	3		4	採用により助教1名増(27) 退職により准教授1名減(26)	
		卒業論文	4通	8				7	8	1	3		4	採用により助教1名増(27) 退職により准教授1名減(26)	
		卒論演習	4通	2				7	8	1	3		4	採用により助教1名増(27) 退職により准教授1名減(26)	
		専攻特別実験Ⅰ	3前		1			1	1						
		専攻特別実験Ⅱ	3前		1			1	2					准教授1名の職名が、教授に変更となったため(25)	
		専攻特別実験Ⅲ	3前		1			1	1						
		生態環境科学特論	2前			1								カリキュラムの変更に伴う配当年次の変更(26)	
		環境資源工学特論	2後		1									兼 1	
		動物生理学	1前 1後			2								兼 1	カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため(24)
		極限環境生物学	2後		2									兼 2	教育指導体制強化のため、兼任教員1名増(26)
		植物生理学	3後		2									兼 1	
		免疫学	2後		2									兼 1	
		遺伝子機能学	2後		2									兼 1	
		系統分類学	1前		2									兼 1	
		土壤微生物学	2前		2									兼 1	
		農薬環境科学	2後		2									兼 1	
		総合防除学	2前		2									兼 1	
		植物保護学	3後		2									兼 1	
		昆虫学	2後		2									兼 2	
授粉生態学	3前		2									兼 1			
森林生態学	1後		2									兼 1			
造林学	2後		2									兼 1			

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
環境 資源 工学 教育 コース	専 攻 科 目	森林水文学	3前		2							兼 1	3年次以降の具体的なカリキュラムの 編成過程で、変更せざるを得なかつた ため(25)
		森林バイオマス資源学	3前		2							兼 1	
		材料再生利用工学	3前		2							兼 1	
		バイオマス変換工学	3前		2							兼 1	
		微生物工学	3前		2							兼 1	
		資源作物学	2後		2							兼 1	
		生物統計学	2前		2							兼 1	
		作物学	2前		2							兼 1	
		耕地栽培学	2前		2							兼 2	
		野菜園芸学	2前		2							兼 4	
		作物栄養学	2後		2							兼 2	
		生物学実験	3後		2							兼 1	
		森林学特論	3前		2							兼 13	
		熱帯農学	2・3後		2							兼 1	
		農業経済学	2後		2							兼 1	
		農業市場経済学	2後		2							兼 1	
農業経営学	2後		2							兼 1			
地域 工学 教育 コース	基 盤 科 目	物理学	1前 1前後	2			2	1				兼 3	准教授1名の職名が、教授に変更と なったため(25)
		化学	1前		2						4	兼 7	カリキュラムの具体的な編成の過程 で、物理学の教育に精通している教授 の担当が可能となったため、助教から 教授に変更(24)
		生物学	1前 1前後		2							兼 6	履修学生多数のため、後期にも開講 (24)
		地学	1前 1後		2		1	1				兼 5	教育指導体制強化のため、兼任教員1 名増(26)
		生物資源と農学	1後		2							兼 3	前期に履修者が偏ったため、前期に2 クラス開講(25)
		地域社会セミナー	1後		2							兼 2	履修学生多数のため、後期にも開講 (24)
		生態学	1後		2							兼 5	カリキュラムの具体的な編成の過程で 変更せざるを得なかつたため前期に変 更(24)
		統計学	1前	2					1			兼 6	教育指導体制強化のため、兼任教員2 名増(27)
		基礎フィールド演習	1通 1前		2							兼 4	より多様の体験をさせるため、年間を 通した演習としたことによる配当年次 の変更(26)
		細胞生物学	1前 1後		2							兼 2	カリキュラムの具体的な編成の過程で 変更せざるを得なかつたため前期に変 更(24)
		遺伝学	1後		2							兼 2	
		動物学	1後		2							兼 4	サバティカル終了のため兼任教員1名 増(27)
		植物学	1後		2							兼 5	サバティカルのため兼任教員1名減 (26)
		微生物学	1後		2							兼 3	
		物理化学	1後		2							兼 1	

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
地域 工学 教育 コース	基 盤 科 目	有機化学 I	1 後		2							兼 1	退職により准教授減(24)	
		基礎分子生物学	1 後		2							兼 1		
		生物化学 I	1 後		2							兼 1		
		基礎土壌学	1 後		2		1	1				兼 1		
		農学原論	1 後		2							兼 1		
		経済原論	1 後		2							兼 1		
		環境生物学	1 後		2				1			兼 8 兼 7		採用により兼任教員 1 名増(26)
		水環境学	1 後		2		1	2						カリキュラムの具体的な編成の過程で 変更せざるを得なかったため、准教授 を 2 名から 1 名に変更(24)
		基礎水理学	1 後	2				1						
		物理学基礎実験	2 前		1				2 3	1				
	地学基礎実習	2 後 3 前		1		1	1					退職により准教授 1 名減(26)		
	農業キャリア論	3 前後		2								教育指導体制強化のため、助教 1 名増 (25)		
	農業生産学概論	1 前		1								退職により准教授 1 名減(24)		
	森林学概論	1 前		1										
	食と農の経済概論	1 前		1										
	農林生態科学概論	1 前		1								採用により兼任教員 1 名増(26)		
	専 攻 科 目	水環境保全学	2 後		2				1				1	助教の職名が、准教授に変更となった ため(24)
		水圏生態学	2 後		2				1					
		汽水域生態学	3 前		2								兼 1	
		土壌生態学	2 後		2				1					
土壌生化学		2 前		2				1						
植物栄養生態学		3 前		2		1								
水質環境工学		3 前		2		1								
水圏植物学		2 前		2								兼 1		
環境リスク学		2 前		2								兼 1		
水圏動物学		2 前		2								兼 1		
バイオマス利用学	3 前		2							1				
応用数学 I	1 前											他の専門教育科目を履修する際の基礎 となる科目のため、配当年次を半期前 に変更(26)		
実用分析化学	1 後 2 後	2		2		1		1						
植物環境工学	3 前		2			1		1				准教授の職名が、教授に変更となった ため(25)		
環境と複雑系	3 前 未開講		2			1		2				教育指導体制の強化のため、教授 1 名 及び准教授 1 名増(27)		
現代物理化学	3 前		2					1				担当教員の都合のため(26)		
生物環境ロボティクス	2 前	2				1		2				教育指導体制の強化のため、教授及び 准教授 1 名増(26)		
水と緑の環境工学	2 後		2			2		1				教育指導体制の強化により教授 2 名増 (26)		
土壌物理学	3 前	2				1			1					
構造力学の基礎	2 前	2				1		1						

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考					
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手						
地域 工学 教育 コース	専 攻 科 目	応用数学Ⅱ	1後										応用数学Ⅰの配当年次を半期前に変更したことに伴う変更(26)				
		水理学Ⅰ	2前	2				1									
		測量学Ⅰ	2前	2							1			退職により准教授から講師へ変更(24)			
		測量学Ⅱ	2後	2					1					教育指導体制の強化のため、准教授1名増(26)			
		構造力学	2後	2				1									
		土質工学Ⅰ	2前	2				1	1								
		土質工学Ⅱ	2後	2				1	1								
		かんがい排水学Ⅰ	3前	2							1			教育指導体制の変更により、講師から教授へ変更(25)			
		かんがい排水学Ⅱ	3後	2							1			教育指導体制の変更により、講師から教授へ変更(25)			
		水質水文学	3前	2				1									
		流域水文学	2後	2				1									
		水利施設工学Ⅰ	3前	2				1									
		コンクリート工学	3前	2							1			教育指導体制の強化により准教授1名増(26)			
		地域計画学	2前	2				1			1						
		農地保全学	3後	2							1			退職により准教授から講師へ変更(24)			
		水理学Ⅱ	2後	2	2						1						
		構造設計論	3後	2	2			1	1								
		応用数学Ⅲ	2前								1				応用数学Ⅱの配当年次を半期前に変更したことに伴う変更(26)		
		農地工学	2後	2	2						1				准教授の職名が、教授に変更となったため(25)		
		水文統計学	3後	2	2						1				教育指導体制の変更により教授から助教へ変更(25)		
		水利施設工学Ⅱ	3後	2	2						1				採用により助教1名増(27)		
		地域環境科学入門	1前	1							7	8	1	3	退職により准教授1名減(26)		
		環境分析化学実験	2前		1						1	2		1	2	退職により准教授1名減(26) 助教1名の職名が准教授に変更となったため(24)	
		生態環境科学実習	2後		1					1	2		1		1	教育指導体制の変更により助教減(25)	
		環境資源工学実習	2後		1					1	2		1		1	教育指導体制の変更により教授1名減及び採用により助教1名増(27) 教育指導体制の変更により助教減(25)	
		測量実習Ⅰ	2前	1							1	1			1	1	准教授1名の職名が、教授に変更となったため1名減(25)
		測量実習Ⅱ	2後	1							1	2			1	1	
水理学実験	3前	1						1	1				1	1	教育指導体制の変更により准教授減(25)		
土質理工学実験	3前	1							1	1			1	1	教育指導体制の変更により准教授減、助教増(25)		
土木材料学実験	3前	1						1	1								
地域環境工学演習	3後	1						1	1						退職により准教授減(24)		
外書講読Ⅰ	2前		1					7	8	1			3	4	採用により助教1名増(27) 退職により准教授1名減(26)		
外書講読Ⅱ	2後		1					7	8	1			3	4	採用により助教1名増(27) 退職により准教授1名減(26)		

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
地域 工学 教育 コース	専 攻 科 目	卒論演習 生物学実験	4通 3後	2	2		7	7 8	1	4 3		採用により助教1名増(27) 退職により准教授1名減(26)
		生態環境科学特論 環境資源工学特論	2前 2後 2後		1 1							カリキュラムの変更に伴う配当年次の変更(26)
		卒業論文	4通	8			7	7 8	1	4 3		採用により助教1名増(27) 退職により准教授1名減(26)
		耕地栽培学	2前		2							採用により、兼任任教員1名増(26)
		農業経済学	2後		2							
		農業市場経済学 農業経営学	2後 2後		2 2							

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

教育 コース	認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
	必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
生態 環境 科学 コース	科目 25	科目 104	科目	科目 129	科目 [△2]	科目 [2]	科目 []	科目 [-]	
環 境 資 源 工 学 コース	科目 26	科目 96	科目	科目 122	科目 [-]	科目 [-]	科目 []	科目 [-]	
地 域 工 学 コース	科目 33	科目 60	科目	科目 93	科目 [-]	科目 [-]	科目 []	科目 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

＜生物資源科学部 地域環境科学科＞

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(補助職員 人) (補助職員 人)		
	室	室	室	室	室			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		(例) 平成27年4月 専任教授1名を新規採用のため(27)		
	〇〇学部 〇〇学科			(例) 16 15 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

<生物資源科学部 地域環境科学科>

大学の名称	島根大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は 称号	平均入 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	3年次 人	人		倍			
法文学部			10	20				島根県松江市西川 津町1060	
法経学科	4	90		360	学士（法経）	1.04	平成16 年度		
社会文化学科	4	70		280	学士（社会科学）	1.06	平成16 年度		
言語文化学科	4	65		260	学士（文学）	1.07	平成16 年度		
教育学部 学校教育課程	4	170		680	学士（教育学）	1.03	平成16 年度	島根県松江市西川 津町1060	
医学部			10	40					
医学科	6	102		610	学士（医学）	1.00	平成15 年度	島根県出雲市塩冶 町89-1	
看護学科	4	60	10	240	学士（看護学）	1.03	平成15 年度		
総合理工学部			12	24					
物質科学科	4	130		520		1.04	平成15 年度	島根県松江市西川 津町1060	
地球資源環境学科	4	50		200		1.01	平成15 年度		
数理・情報システム学科	4	100		400	学士（総合理工学）	1.04	平成15 年度		
機械・電気電子工学科	4	80		320		1.04	平成15 年度		
建築・生産設計工学科	4	40		160		1.11	平成15 年度		
生物資源科学部			20	40					
生物科学科	4	30		120		1.06	平成15 年度	島根県松江市西川 津町1060	
生命工学科	4	40		160	学士（生物資源科学）	1.09	平成15 年度		
農林生産学科	4	85		340		1.04	平成24 年度		
地域環境科学科	4	45		180		1.09	平成24 年度		
人文社会科学研究科 法経専攻	2	6		12	修士（法学） 修士（経済学） 修士（社会科学）	1.08	平成16 年度	島根県松江市西川 津町1060	
言語・社会文化専攻	2	6		12	修士（言語文化）	1.00	平成16 年度		
教育学研究科 教育実践開発専攻	2	20		40	修士（教育学）	0.80	平成20 年度	島根県松江市西川 津町1060	
教育内容開発専攻	2	20		40		0.80	平成20 年度		
医学系研究科 医科学専攻	4	30		120	博士（医学）	1.01	平成20 年度	島根県出雲市塩冶 町89-1	
医科学専攻	2	15		30	修士（医科学）	0.83	平成16 年度		
看護学専攻	2	12		24	修士（看護学）	0.95	平成15 年度		

総合理工学研究科 総合理工学専攻	3	12	24	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	1.08	平成26 年度	島根県松江市西川 津町1060	平成27年学生 募集停止
総合理工学専攻	2	124	248	修士（総合理工学） 修士（理学） 修士（工学）	0.97	平成24 年度		
生物資源科学研究科 生物生命科学専攻	2	20	40		0.97	平成20 年度	島根県松江市西川 津町1060	
農林生産科学専攻	2	22	44	修士（生物資源科学）	0.65	平成20 年度		
環境資源科学専攻	2	18	36		1.08	平成20 年度		
法務研究科 法曹養成専攻	3	-	-	法務博士（専門職）	-	平成16 年度	島根県松江市西川 津町1060	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学
科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月
1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている
場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上
の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の
平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，
「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生物資源科学部学部 地域環境科学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	8	1	3	19	7	7	1	4	19				
(7)	(8)	(1)	(3)	(19)	[-]	[△1]	[-]	[1]	[-]	65歳	0名	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

<生物資源科学部 地域環境科学科>

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		留意事項		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<生物資源科学部 地域環境科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
/	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等	
---	--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成27年 5月15日)